



# さくら 2009 秋

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 25 号  
〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 敬老会 (麻機園)

9月12日に「敬老会」が行なわれました。式典では、米寿の方が3名、100歳以上の方が4名表彰されました。おめでとうございます。皆様がお元気に過ごされ「敬老会」に参加して下さいました事を嬉しく思います。

アトラクションは、新人職員の出し物による『敬老会だよ!全員集合』と題し、ひげダンスや合唱を行ないました。ひげダンスでは、入所者にボールを投げて頂き、それを職員がキャッチするというゲームを取り入れ大変盛り上がりました。合唱は「かえるの歌」と「静かな湖畔」の輪唱、そして美空ひばりの「真っ赤な太



太陽」は皆様の手拍子に合わせ踊りながら歌いました。

また、新人職員の一入は高校生時代新体操部であり、リボンを使った華麗なダンスショーを披露しました。

そして最後は恒例となった「花火音頭」を皆様と一緒に踊り、楽しい会になりました。

麻機園 寮母 望月ひとみ

## さつまいものケーキ

私達喫茶係は、おやつ作りの計画をし、実施する係です。今回は秋をテーマに「さつまいものケーキ」を90人分作りました。

朝からエプロン姿の女性入所者数名の方にお手伝い頂き、喫茶室「さくらんぼ」は大忙し! 型にバターを塗る係、卵を割る係、お芋を入れる係など分担し、とても手際が良いです。部屋中がプーンと甘いケーキの焼ける香りに包まれ幸せ気分。焼き上がったケーキをお皿に移し、冷めた所でカット。包丁を使うのは何年ぶりの事だったでしょう。いつもは車椅子に乗っているSさんもKさんも車椅子からずっと立ち上がり、包丁を上手に使って柔らかいケーキをきれいに切り分けます。

お楽しみは何と言っても味見の時間。出来上がりを待つ他の入所者の皆様よりひと足お先にパクリ。「甘さがちょうどいいね」「しっとりしていておいしいよ」と、自分達で作ったケーキの味は格別だったようです。さすが元ベテラン主婦! 昔を思い出すかのようにいきいきと楽しそうに作業する姿が印象的でした。「楽しかった」「またやりたいね」との言葉を聞き、私達も大変嬉しかったです。

次回はクリスマスケーキを予定しています。お楽しみに。

麻機園 寮母 池ヶ谷倫世



## 第20回秋の運動会

今年の運動会は雨天の為、屋内のさくらの広場での開催となった。開始前の応援合戦の練習から赤組・白組ともに熱くなり、満面の笑顔で溢れていた。沼上保育園の可愛い園児たちによるマーチングバンドで更なる歓声が飛び交うなか、感極まって涙を浮かべる入所者の姿も見られた。

一種目めは、美味しそうなパンを目がけ入所者も園児も大興奮だったパン食い競争。どれでも良いから一直線に走る方、パンの味を選ぼうと慎重になっている方と一生懸命な姿が見られた。二種目めは、不安定なピンポン玉を入所者から園児へ、園児から入所者へとリレーするピンポン玉リレー。玉を渡す側も受け取る側も、お玉の高さを相手に合わせようとチームプレーが見られた。三種目めは、恒例の赤白玉入れ合戦。勝敗の決まる最終種目だ。入所者は皆今日の為に練習してきた。カゴをはるかに通り越す程の力で玉を投げる方、終了の合図に気づかないほど夢中になっている方と、練習以上の成果を発揮していた。総合結果は、白組の勝利となったが、普段の様子からは想像出来ない皆さんの気合いの入った勢いや闘志を感じ、大変盛り上がった運動会となった。

麻機園 寮母 高井沙織



## 誕生者外出

麻機園では、利用者の誕生月に誕生者外出と銘打って、利用者の希望する所へ外出しています。9月には誕生者のYさんが「本を買いたい」との希望があり、近くの本屋に行ってきました。外出の朝声をかけると、最初は緊張していましたが、車に乗り、どんな本がほしいのかなど話をしていくうちにYさんの緊張もほぐれていきました。

本屋に着くと、普段の生活ではあまり見る事のないほど生き生きとした様子で、とても嬉しそうでした。Yさんは、自分の知っている本を手にとって、私にその本の内容を説明してくれました。本当に明るい表情でした。

外出は入所者にとって、どんなに楽しみにしている事が、そしてそれはとても必要な事だという事がよく分かりました。

麻機園 寮母 豊泉有美子



「大切なこと」 増田 絢  
「老人ホームで働いている」と言っと、「どんな仕事をしているの?」とよく聞かれる。身近にお年寄りがない同級生にとって、介護という仕事は想像出来ないのだと思う。食事介助・トイレ誘導・入浴介助など一日の仕事話をすると、「大変そう、偉いね。」と必ず言われる。自分の仕事を楽だと思った事はないけど、偉いと言われると何となく違う気がする。  
私は少しの事で落ち込んだり、誰かのひとことで元気が出たりする。自分の事を理解してくれる人が多ければ多いほど嬉しいし心強い。きっと皆も同じだと思う。麻機園でも、一緒に働いている職員はもちろん、入所者の方々にたくさん助けってもらい、笑顔をもらっている。仕事を大変だと思ふ事はあるけれど嫌になっちゃってしまわないのは、それが理由だと思ふ。  
入所者の皆さんは家族と離れ、不自由な体でひとり新しい環境で生活するのはとても不安な事だと思ふ。だから皆さんに助けて頂いている分、自分も一人一人の入所者の気持ちに共感出来る寮母になりたい。それが私の仕事の楽しさだと思ふ。  
入所者のほとんどの方は、私の祖母より高齢だ。毎日共に過ごさせて頂くのが当たり前のようになってしまっているけれど、自分の何倍もの年齢の方と喜びや悲しみを共有し、また、昔の話を聴かせて頂ける事はとても貴重な経験だと思ふ。これからは、『命を預かっている』という事を忘れずに、たくさんの方の気持ちを皆さんと共有して行きたい。

デイサービスを無料で1日体験できます。ご利用希望の方は209-2619までお電話ください。

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人 東桜会